

日本の国技である相撲の聖地として知られる両国。両国という地名は、かつて、墨田川を挟んで武蔵国と下総国があり、両国を結ぶ「両国橋」が由来とされており、両国駅のすぐ前には、年に3回大相撲が行われ、東京2020オリンピックではボクシングの会場となる国技館がある。

墨田区には多くの小さな博物館や工房ショップが点在しており、江東区の深川は松尾芭蕉ゆかりの地です。

今回は、そんな両国駅周辺を散策し、さらに深川清澄方面に向かって歩いてみます。



両国駅周辺

1 オリンピックでボクシング会場となる国技館

昭和4年に竣工し、アーチ型にデザインされた3つの大きな窓を配置したレトロな両国駅舎。その目の前には、相撲の土俵を囲んですり鉢状の観客席のある国技館があります。スポーツイベント等の開催時には土俵と屋形を収納することができ、東京2020オリンピックでは古代オリンピックでも行われていたボクシングの会場となります。



2 美術工芸品に昇華した日本刀の魅力を知る ~旧安田庭園と刀剣博物館~



1701年にこの地を拝領した本庄因幡守宗資が築造したとされる旧安田庭園。遠くに東京スカイツリーを望む庭園の中央にある「心」の文字をかたどった池は、かつては墨田川の水を引き入れ、潮の干満によって変化する景観を楽しむ潮入回遊庭園です。

北門を出たところには、日本刀を専門に保存・公開している「刀剣博物館」があり、日本刀の姿の曲線美や華麗な刃文の美しさを鑑賞できます。



5 合格祈願のお守りにいかが? ~回向院と両国花火資料館~



かつて、大相撲の起源とされる歎進相撲が境内で興行され、やがて春秋2回の興行の定場所となった回向院。入口から少し歩くと相撲協会が建立した「力塚」の碑があり、力を授かるよう祈願する新弟子たちが訪れます。境内の一角には、「鼠小僧次郎吉の墓」があり、墓石を削って持ち帰ると、金運アップや合格祈願にご利益があるそうです。



時代劇でおなじみねずみ小僧のお墓です!

また、両国は納涼花火大会の発祥の地ということもあり、回向院のすぐ近くには両国花火資料館があります。こぢんまりとした館内には、花火玉の断面模型などが展示されており、花火の歴史や製造方法なども学ぶことができます。



玉屋〜 鍵屋〜



3 世界の葛飾北斎の作品を鑑賞する ~すみだ北斎美術館と野見宿禰神社~



世界的な芸術家として有名な葛飾北斎。北斎は、すみだの地で生まれ、生涯に93回の引越をしたと伝えられ、そのほとんどをすみだで過ごしました。美術館では北斎や門人の作品が展示されており、北斎の人物像やすみだとの関わりなどを紹介しています。

お土産にあらはれいかが?



また、美術館近くにある野見宿禰神社は、かつて高砂部屋の親方が、相撲の神様として知られる野見宿禰を祀ったのが始まりで、歴代の横綱の名前が刻まれた石碑があります。



4 赤穂浪士討ち入りの場所 ~本所松坂町公園(吉良邸跡)~

浅野内匠頭による殿中刃傷事件の後、吉良上野介が幕府から拝領して建てた土屋敷跡。忠臣蔵で有名な赤穂浪士が討ち入りした屋敷跡は、当時の1/86の広さ(約100㎡)になって、なまこ壁に囲まれた小さな公園となっています。



🌸 回向院と両国花火資料館から深川・清澄へ

6 松尾芭蕉ゆかりの地へ～深川芭蕉庵跡、展望庭園、採茶庵跡～

「古池や蛙飛び込む水の音」の句で有名な江戸時代の俳人「松尾芭蕉」。1689年、門人・河合曾良を伴い、ここ江戸深川から東北と北陸の諸国を巡る「奥のほそ道」の旅に出発しました。



▲芭蕉庵史跡展望庭園から墨田川を望む

旅に出発したとされる「採茶庵」跡や芭蕉が本拠としていた「深川芭蕉庵」旧地（芭蕉稲荷神社）などの史跡がありますが、まずは芭蕉記念館に立ち寄り「松尾芭蕉」について知っておきましょう。



▲芭蕉記念館



▲採茶庵跡



▲「深川芭蕉庵」旧地（芭蕉稲荷神社）

7 明治27年に製造されたコンクリート～セメント工業発祥の地～

建設工事にはなくてはならないセメント。明治5年、深川の墨田川の川辺に官営工場が設立され、翌年、仙台堀などの泥土を原料の一部として使用し、初めてセメントの生産に成功しました。現在この跡地には「本邦セメント工業発祥之地」の記念碑があり、その脇には約125年前に製造されたコンクリート塊が置かれています。

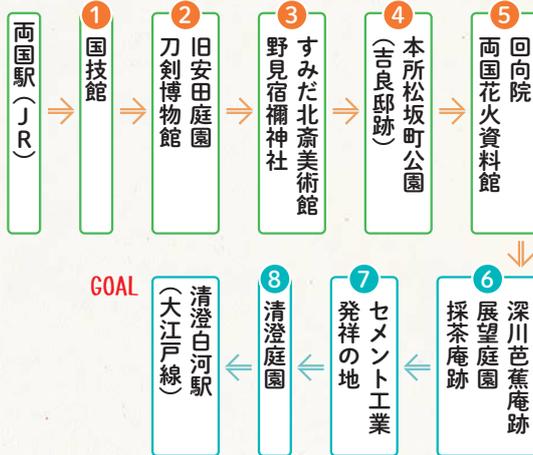


8 全国の名石も楽しめる庭園～清澄庭園～

隅田川の水を引いた大泉水をはじめ、周囲には全国から取り寄せた名石を配した明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」として完成。現在は雨水でまかなっているものの、池の端に点々と置かれた石を渡り歩き、変化する景色を楽しみましょう。



START



GOAL

注目

墨田区では、「すみだ3M (Museum、Meister、Manufacturing shop) 運動」を行っており、小さな博物館や工房ショップなどが多数点在しています。

世界に1台しかなく幻の金庫と言われる機密金庫を展示している「金庫と鍵の博物館」や新幹線やレースカーなどに使われているブレーキを見ることができる「ブレーキ博物館」など、お気に入りの場所を探して訪れてみてはいかがでしょうか。

<https://sumida-3m.tokyo/>